

# たかな

高菜の株は20cm程から大きいものと1m近くになるものまでありますが、葉の形は幅広くあまり切れ込みが少なく少し縮れた感じになっています。紫色が入るが、緑一色のものもあります。外側の大きな葉はやや固めですが、内側の葉は柔らかく、生のまま食べることができます。カラシナの仲間だけに、葉は少しピリッとした辛味があり、これが特徴となっていますが、この辛み成分はマスタードなどと同じイソチオシアネートという成分によるものです。

## 9月の農作業

平成15年発行：  
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

# 雑草図鑑 ススキ・チカラシバ

## 9月の農作業

**作型** 耐寒性が強く、生育日数も短く、畑があいている期間に収穫できる。  
種まき、覆土は丁寧に。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春植え (春まき)												大葉タカナ、葉カラシ菜、 黄カラシ菜	
○：種まき ■：収穫													

### 畑の準備・定植

<b>土づくり a当たり</b>	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
<b>元肥 a当たり</b>	
醗酵鶏糞	30kg
畝立時施用	

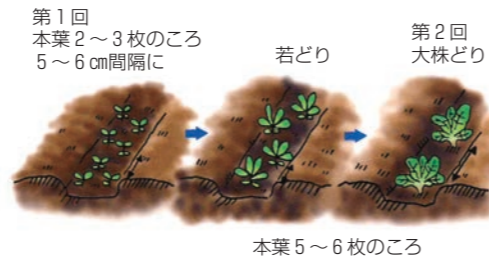
- ・醗酵鶏糞30kgを畝の中心(芯肥)に施用して畝をつくる。(10cm以上の間土を入れる)
- ・畝幅60~80kg

### 種まき

- ・まき溝いっぱい種をまく。(2~3cm間隔に種をまく。)
- ・種が小さいので厚まきにならないように。
- ・覆土は5mm位にして、くわで鎮圧する。
- ・切わらをして、覆土が乾燥しないようにする。

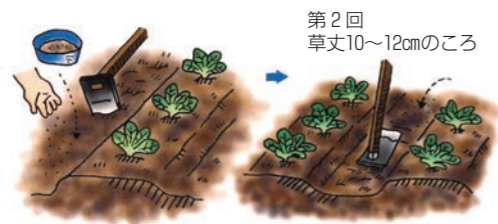
### 間引き

- ・第1回 本葉2~3枚の頃 5~6cmの間隔に。
- ・第2回 本葉5~6枚の頃 10~20cmの間隔に。(若どりする場合10cm 大株どり20cm)



### 追肥・中耕

- ・第1回間引き後畝肩を中耕(けずり)、油粕10kg/aを施し、土寄せする。
- ・第2回間引き後中耕、土寄せを行い、生育の悪い場合は野菜専用肥料5kg/a施用し土寄せする。



### 防除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
白斑病		ストロビーフロアブル
アオムシ	施設では開口部に寒冷紗を張る。露地では害虫の侵入を防ぐため、寒冷紗などを用いる。	エビセクト水和剤
コナガ		エビセクト水和剤 ノーモルト乳剤
アブラムシ類	光反射テープをうね上に張る。施設では開口部に寒冷紗を張る。露地では害虫の侵入を防ぐため、寒冷紗などを用いる。	スカウト乳剤

### 収穫

- ・草丈20cm以上で収穫できる。
- ・春収穫のものは、25~30cm位の大きいものが風味に富む。(とうが出はじめたら全部収穫する。)

裏面は雑草図鑑 ススキ・チカラシバを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.305 平成28年9月13日発行

### ススキ

イネ科の多年草。山野や丘陵地、土手、空き地などに最も生育する。秋の七草の一つで茎は密集して直立し、丈夫で節が高く、大きな株になる。高さは1~2.5m、長さは50~100cmにもなり、葉は細長い線形で中央の白い筋が目立つ。9月に茎の先に大きな穂をつける。穂は灰褐色で穂先は楕円形で赤褐色。類似のオギは株にならず、茎が単位し、穂も壮大である。



ススキの群生地

### 防除のポイント

主要な作物がない場所でラウンドアップが効果的である。また再生が早いがバスタも効果がある。



ススキの穂

### チカラシバ

イネ科の多年草。道端や土手、野原、農道などに生育する踏みつけにも強い。茎は根もとから密集し、大きな株になり、高さは50cm~80cmにもなる。葉も根もとから多数出る。線形で葉鞘は紫色で茎を包む。茎、葉、根も丈夫で容易には引き抜けない。8月~10月に茎の先に円柱状で長さ10cm~20cmの、形がピンに似た黒紫の花穂を出す。花穂の基部に紫色の毛がある。



畦道に群生するチカラシバ

### 防除のポイント

主要な作物がない場所でラウンドアップまたはバスタが効果的である。



チカラシバの花穂

※農薬使用の際は、使用方法・使用時期をよく確認して使用しましょう。

裏面はたかなを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.305 平成28年9月13日発行